

群馬県文化審議会 群馬県民会館について

2025.2.7

群馬県地域創生部

1. 群馬県民会館の必要性について【本日の論点】

2. 群馬県民会館の現状について

- (1) 群馬県民会館の利用状況分析 (資料1)
- (2) 県民アンケート調査の結果について (資料2)
- (3) 大規模改修で想定していた改修内容について (資料3)
- (4) 群馬県民会館を取り巻く文化環境 (資料4)

【本日の論点】

1. 県民会館の県有施設としての必要性

- (1) 『群馬県民会館のあり方検討部会』 報告書に対する現状認識
- (2) 2,000席規模の多目的ホールの必要性
- (3) 50億円以上の費用を投じて現在の県民会館を改修する必要性

2. 今後の公立文化施設のあり方

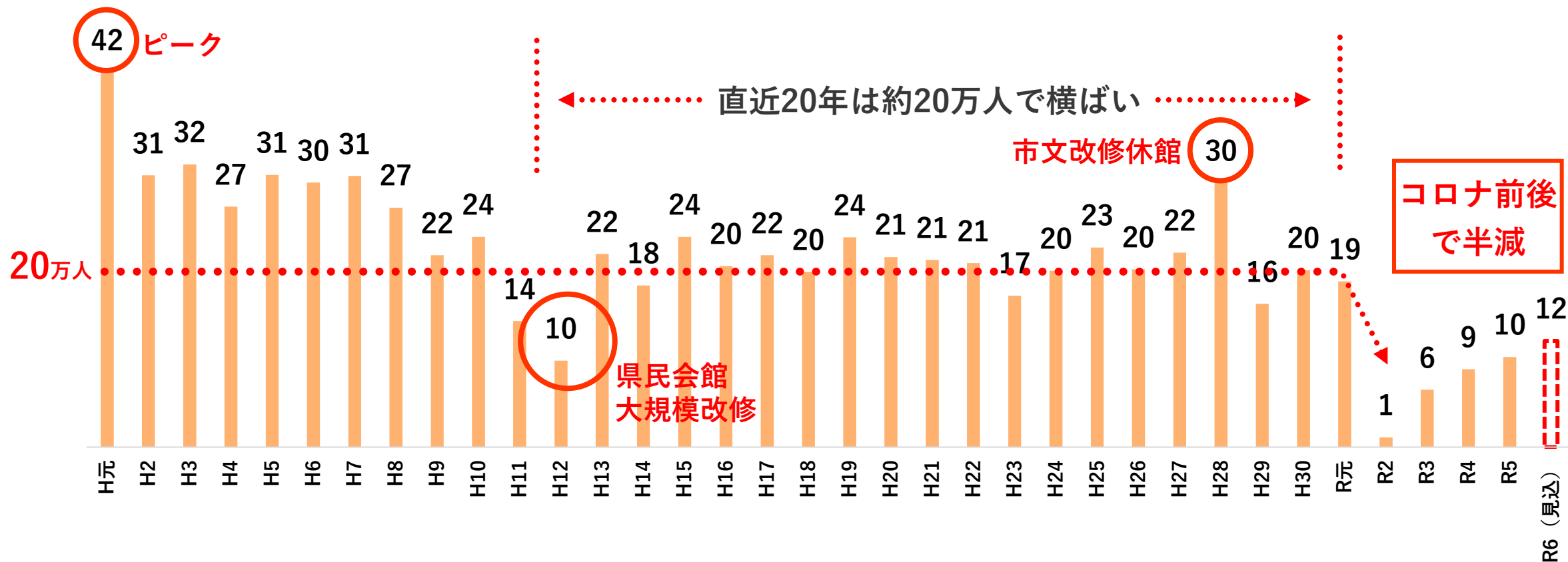
- (1) モノからコトへ転換した先の、県民の文化活動のニーズ
- (2) 人口減少社会を見据えた未来への投資のあり方

群馬県民会館の利用状況分析

大ホールの利用者数の推移（万人）

資料 1

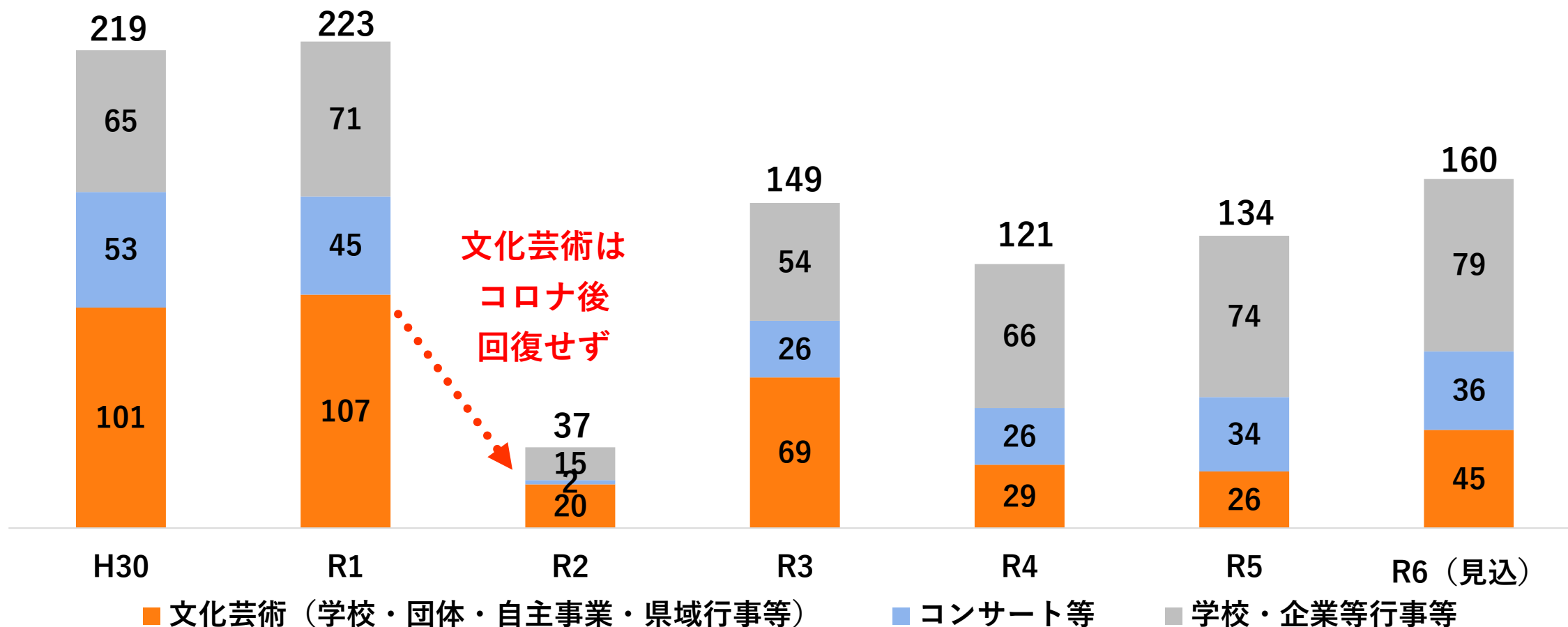
- 直近20年は20万人程度で横ばいも、コロナ禍を経て半減。
- その後、徐々に持ち直すも、回復には至っていない。



大ホールの利用種別の推移（件数）

資料 1

- ・ 県民主体の文化芸術イベントは、コロナ前後で半減。
- ・ 行事利用は堅調。コンサート利用はコロナを経て回復傾向。

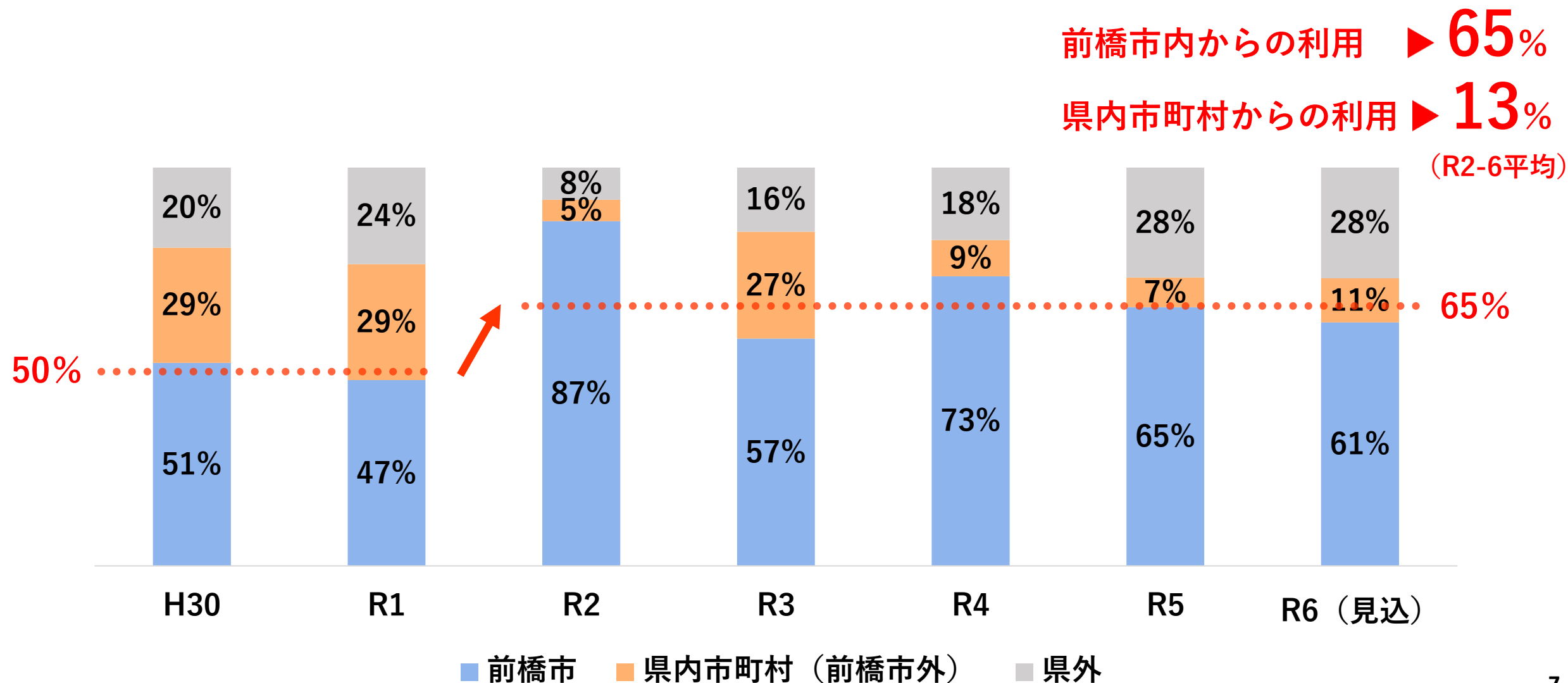


※ R 3 の文化芸術は、コロナ禍で学校の練習用途の利用が急増

大ホール利用の主催者所在地の推移（件数）

資料 1

- 直近は主催者の7割近くが前橋市内。この傾向はコロナ後に顕著となっている。
- 前橋市外からの利用は、コロナ後に1割程度まで減少。



1200人超イベントの分析（文化芸術関連）

資料 1

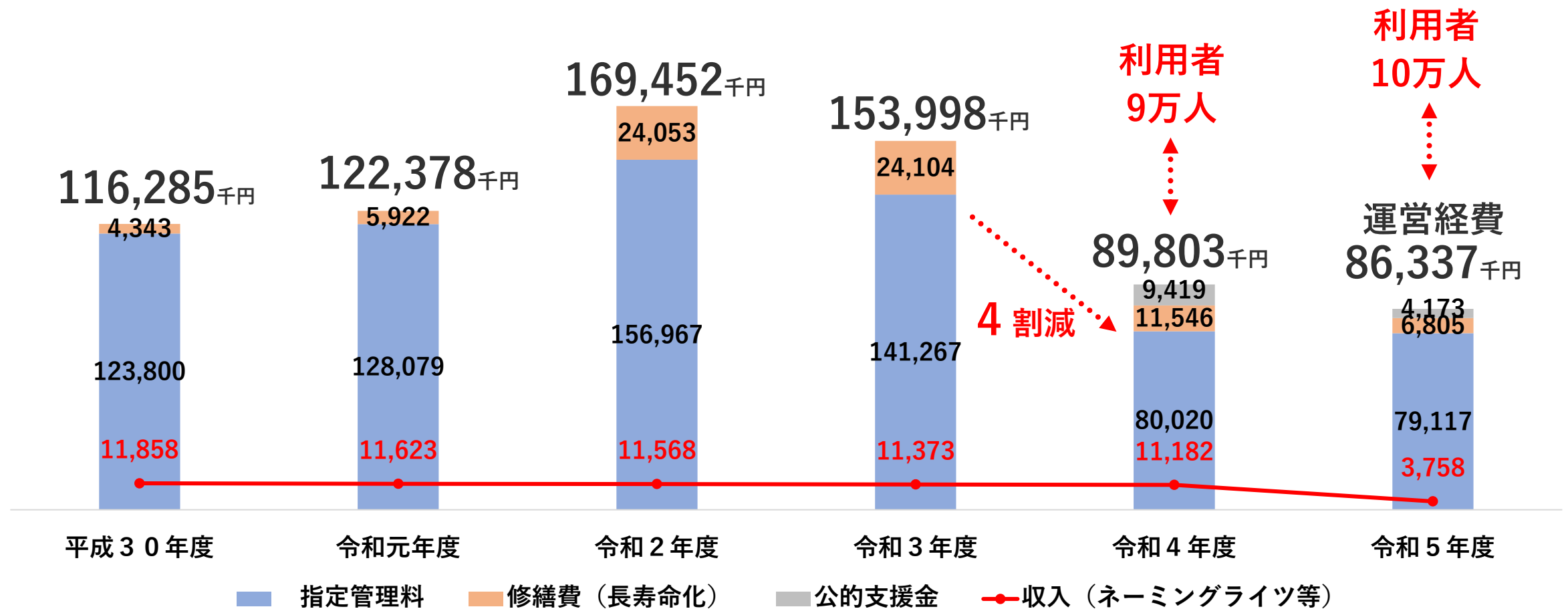
- ・ 県民主体の文化芸術関連イベントは全体の1割程度。県域イベントはさらに少数。

	R4	R5	R6
利用者数	7,094人	17,220人	7,200人
件数	4件（3%）	10件（7%）	4件（3%）
主なイベント	1. 高校音楽教室（前橋育英高） 2. 50周年記念 前橋第九演奏会（前橋第九合唱団） 3. 群馬県小学校バンドフェスティバル（群馬県吹奏楽連盟） 4. みんなDEどーもくん！公開収録（自主事業）	1. 劇団四季ミュージカル（自主事業） 2. 定期演奏会（前橋市立前橋高） 3. 高校音楽教室（群馬交響楽団） 4. 前橋市バンドフェスティバル（前橋市吹奏楽連盟） 5. 第51回前橋第九演奏会（前橋第九合唱団） 6. 群馬県中部地区吹奏楽コンクール（群馬県中部地区吹奏楽連盟） 7. TBSこども音楽コンクール前橋地区大会（同事務局） 8. 群馬交響楽団高校音楽教室（群馬交響楽団） 9. 明治大学マンドリン倶楽部演奏会（明治大学校友会前橋地域支部） 10. おまわりさんのふれあいコンサート（群馬県警察音楽隊）	1. 前橋市バンドフェスティバル（前橋市吹奏楽連盟） 2. 群馬県中部地区吹奏楽コンクール（群馬県中部地区吹奏楽連盟） 3. GYMNA DANCE STUDIO発表会（GYMNA DANCE STUDIO） 4. 第52回前橋第九演奏会（前橋第九合唱団） ※R6.12月末時点の予約ベース

運営経費の推移（千円）

資料 1

- まちづくり公社が指定管理を開始したR4以降、指定管理料は約 4 割減。



群馬県民会館 県民アンケート調査の結果について

調査概要

「群馬県民会館」に対する意見を広く把握するため、県民アンケート調査を実施。

群馬県民会館 県民アンケート調査概要

- (1) 調査方法 ▶ WEB調査（調査委託先：マクロミル）
- (2) 調査対象者 ▶ 群馬県在住の方
- (3) 回答数 ▶ 合計 9 9 6 サンプル
※合計 4 0 区分を設定し、群馬県の人口構成比にあわせて偏りがないよう回収。
 - ①地域（4 区分：中毛、西毛、東毛、北毛）
 - ②年齢（5 区分：18～29歳、30歳代、40歳代、50歳代、60～79歳）
 - ③性別（2 区分：男性・女性）
- 4 × 5 × 2 = 4 0 区分 ▶
- (4) 設問数 ▶ 9 問
- (5) 回収方法 ▶ 委託業者の登録モニター等（県内在住）に対してアンケート調査を配信し、区分ごとに必要回答数を先着順で回収
- (6) 実施期間 ▶ 令和 6 年 1 2 月 3 日（火）～1 6 日（月）

群馬県民会館 県民アンケート調査

「群馬県民会館（ベイシア文化ホール）」は、1971年に前橋市に建設された、県立の文化施設です。約2,000席の大ホールを有し、演奏会や講演会・式典などの行事、プロのコンサートなど、幅広く利用されてきました。

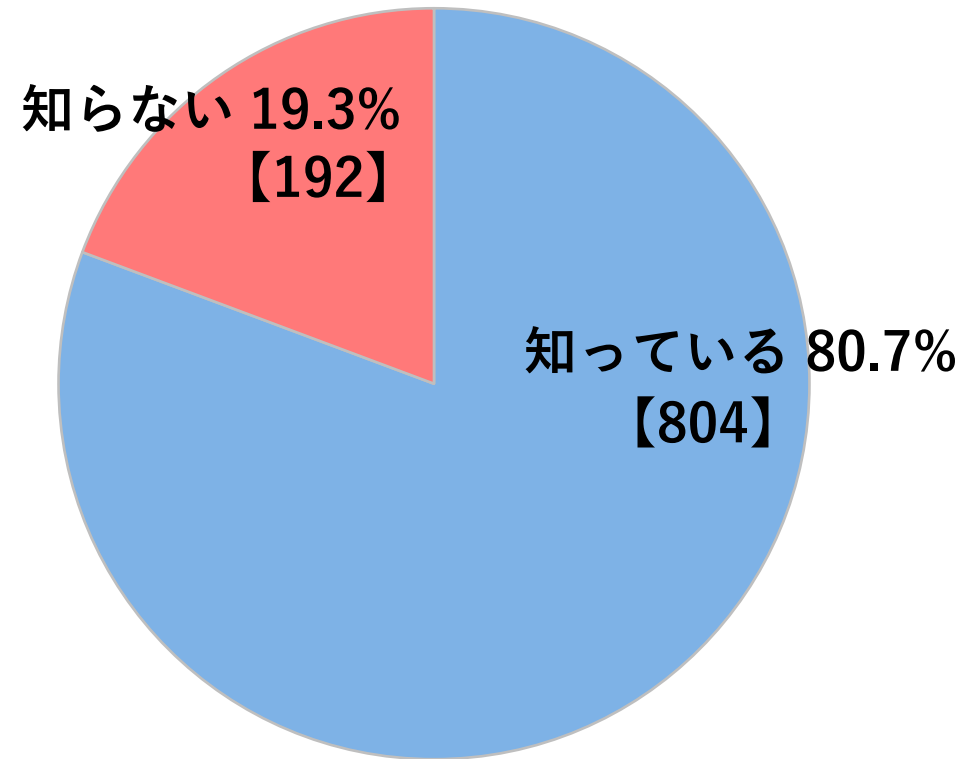
一方で、施設の利用者数（大ホール）は、コロナ禍を経てピーク時の1/4程度まで減少しています。また、建設から約50年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいることから、利用者の安全を確保するため、2025年4月から利用を停止します。

現在、群馬県では、施設の今後のあり方を検討しています。
上記を踏まえ、以降の設問にお答えください。

（全 9 問）

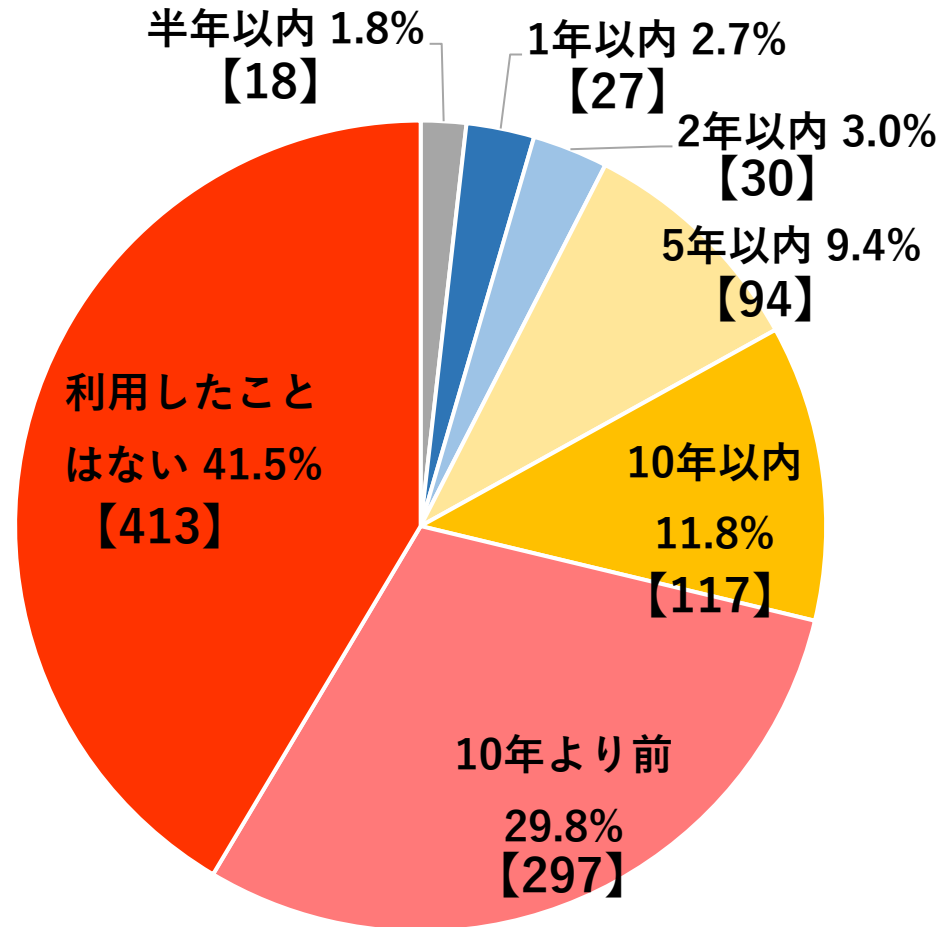
【調査結果】 群馬県民会館の認知

【Q1】 このアンケートに回答する前の時点で、あなたは「群馬県民会館（ベイシア文化ホール）」（以降、「群馬県民会館」）を知っていましたか。（ひとつだけ）（n=996）



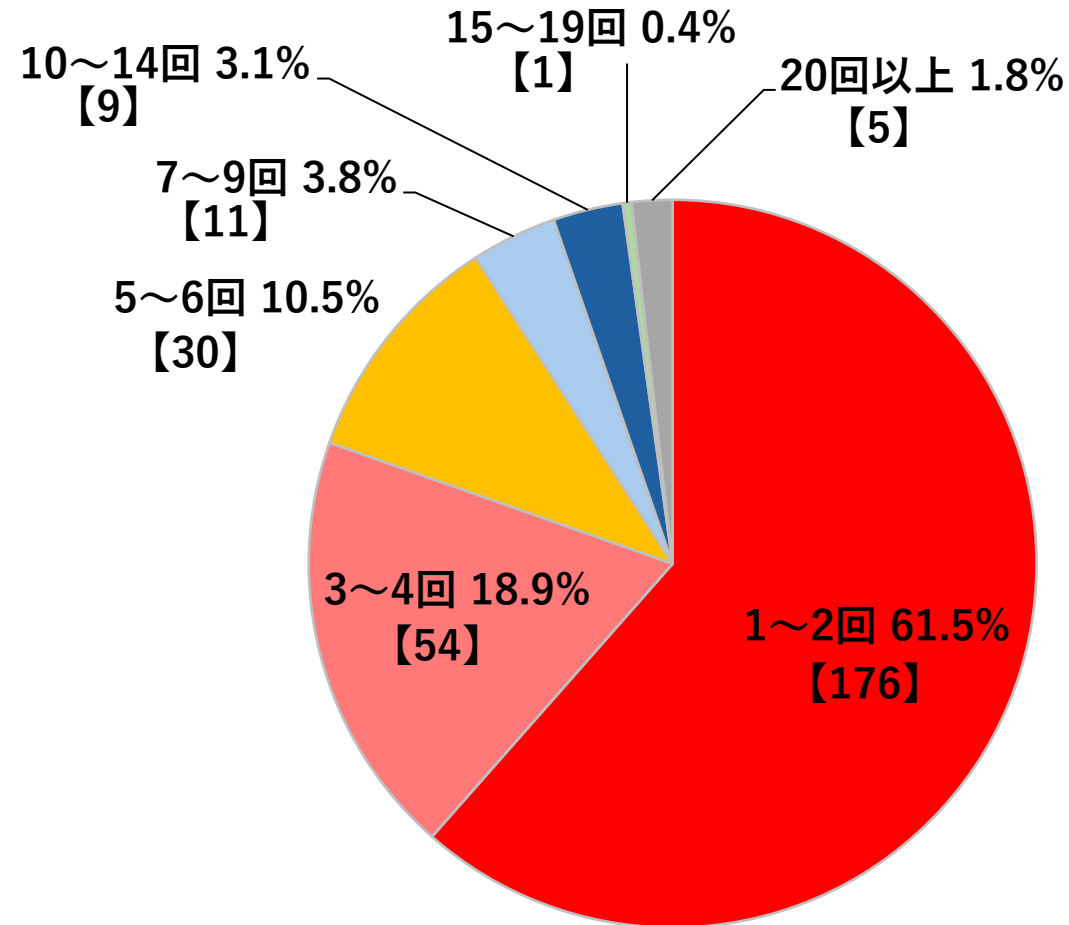
【調査結果】 群馬県民会館の直近利用時期

[Q2] あなたが、最後に「群馬県民会館」を利用したのはいつですか？
(ひとつだけ) (n=996)



【調査結果】 群馬県民会館の直近10年利用回数

[Q3] あなたは、直近10年で「群馬県民会館」を何回利用しましたか。
(ひとつだけ) (n=286)



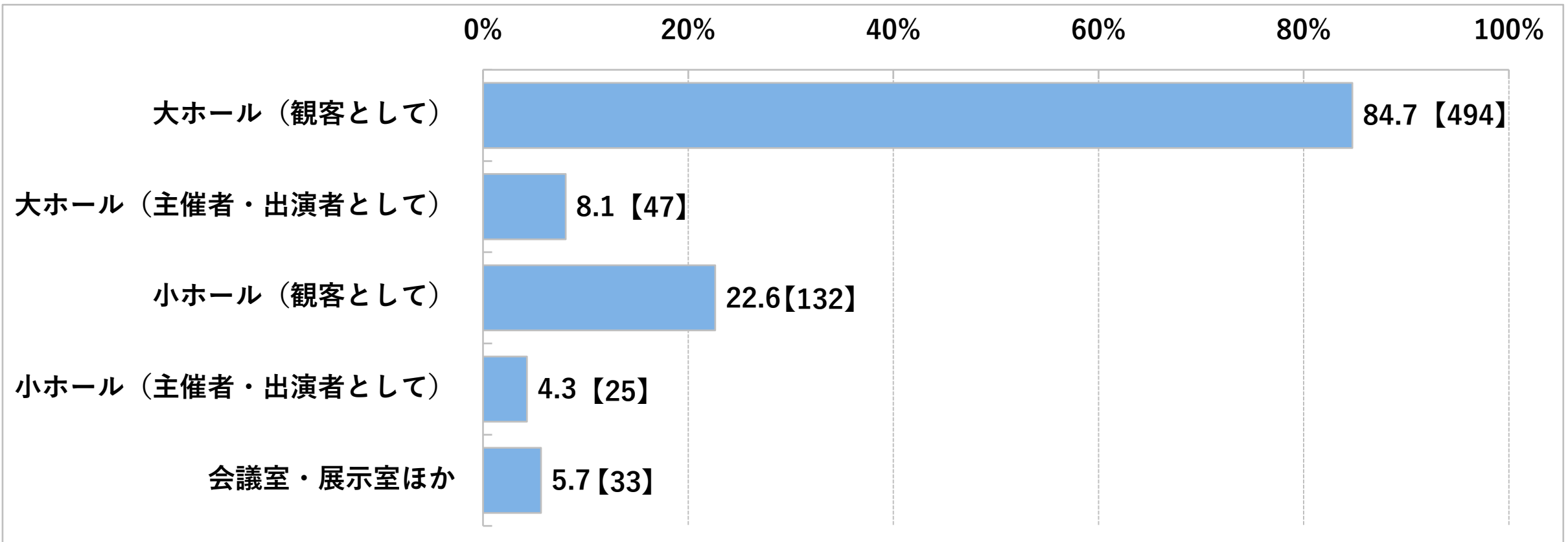
【調査結果】 利用したことのある施設・用途

[Q4] 「群馬県民会館」について、あなたが利用したことのある施設・用途を選択してください。（いくつでも）（n=583）

※大ホール：1,997席、小ホール：499席（2階）

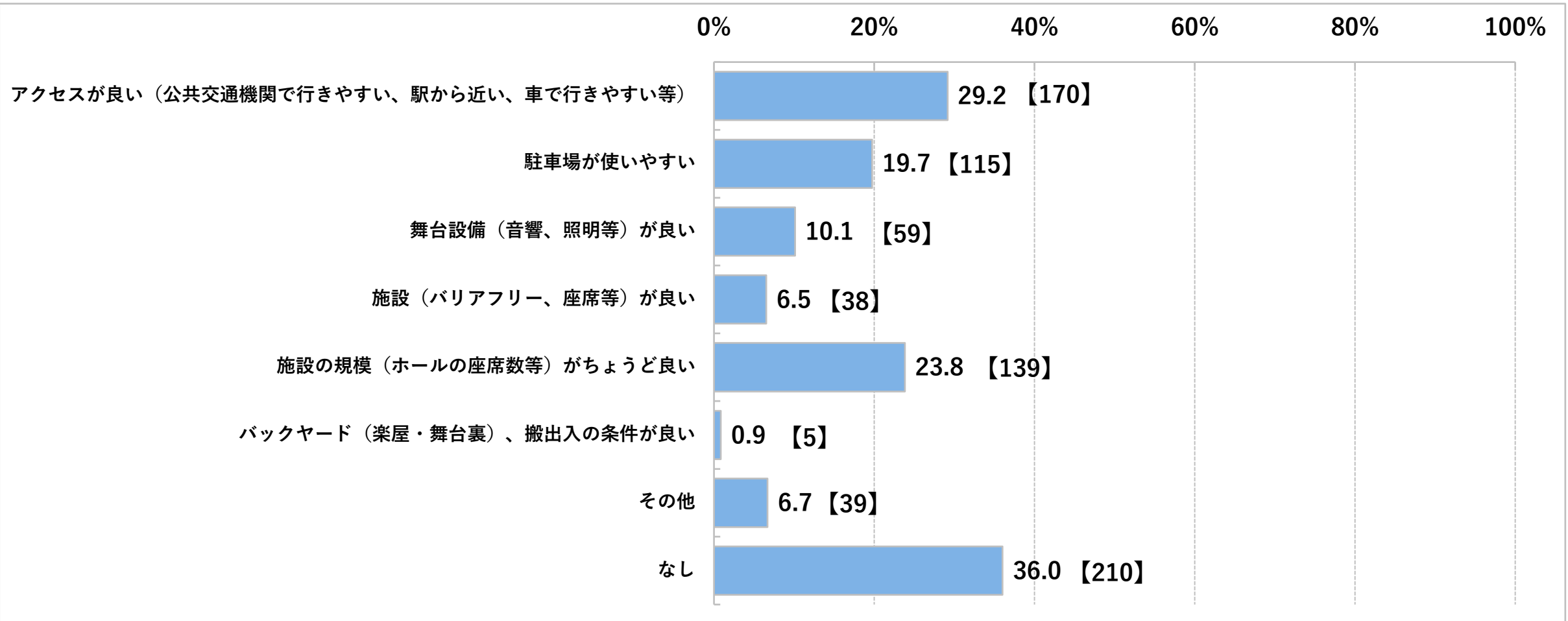
※「観客」とは、観客席にて鑑賞・観覧・聴講された方

※「主催者・出演者」とは、イベントの企画者や、ステージに立って利用された方



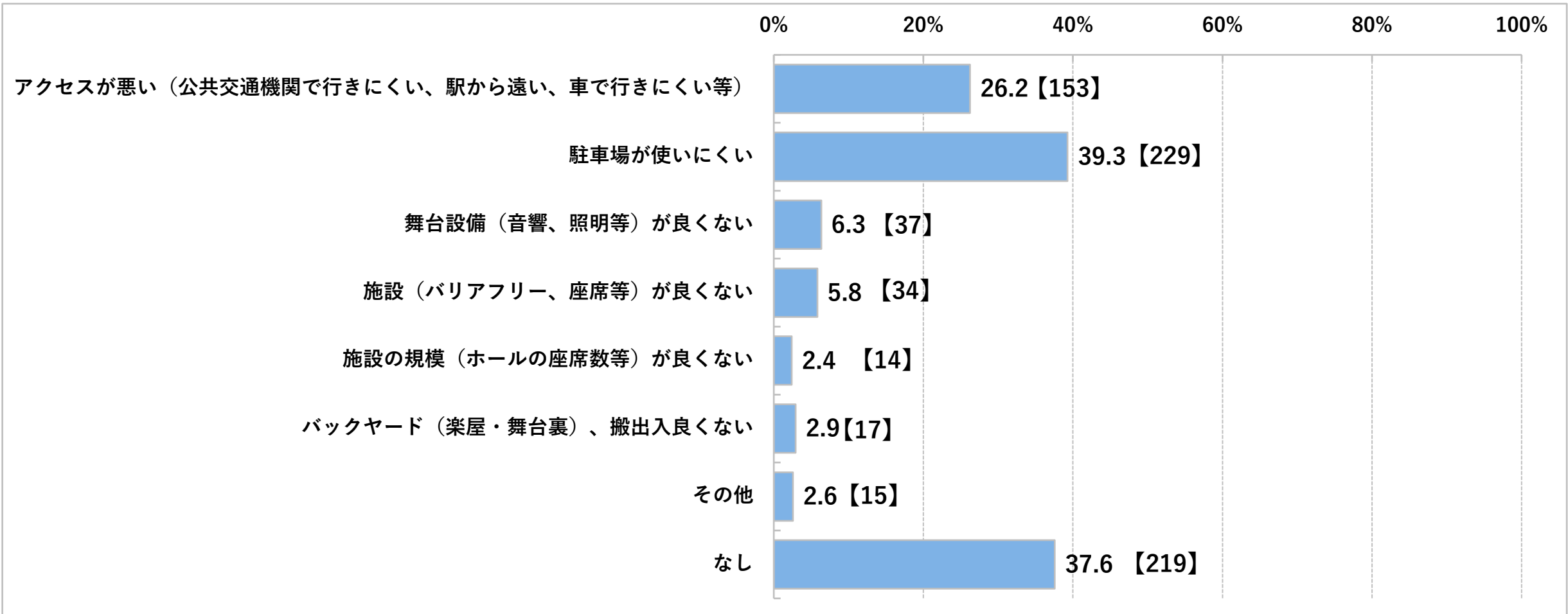
【調査結果】 群馬県民会館の利用時に良かったこと

[Q5] 「群馬県民会館」を利用した理由、利用した際に良かったことをお答えください。(3つまで)(n=583)



【調査結果】群馬県民会館の利用時に良くなかったところ

[Q6] 「群馬県民会館」を利用した際に、不便に思ったところ、良くなかったところをお答えください。(3つまで)(n=583)



【調査結果】 群馬県民会館の必要性

[Q7] あなたにとって「群馬県民会館」は必要な施設ですか。あなたの考えとして、あてはまるものをお答えください。（ひとつだけ）（n=996）

[Q8] 以下の情報をよくお読みになったうえで、「群馬県民会館」を維持する必要性について、あなたの考えとして、あてはまるものをお答えください。（ひとつだけ）（n=996）

【情報】

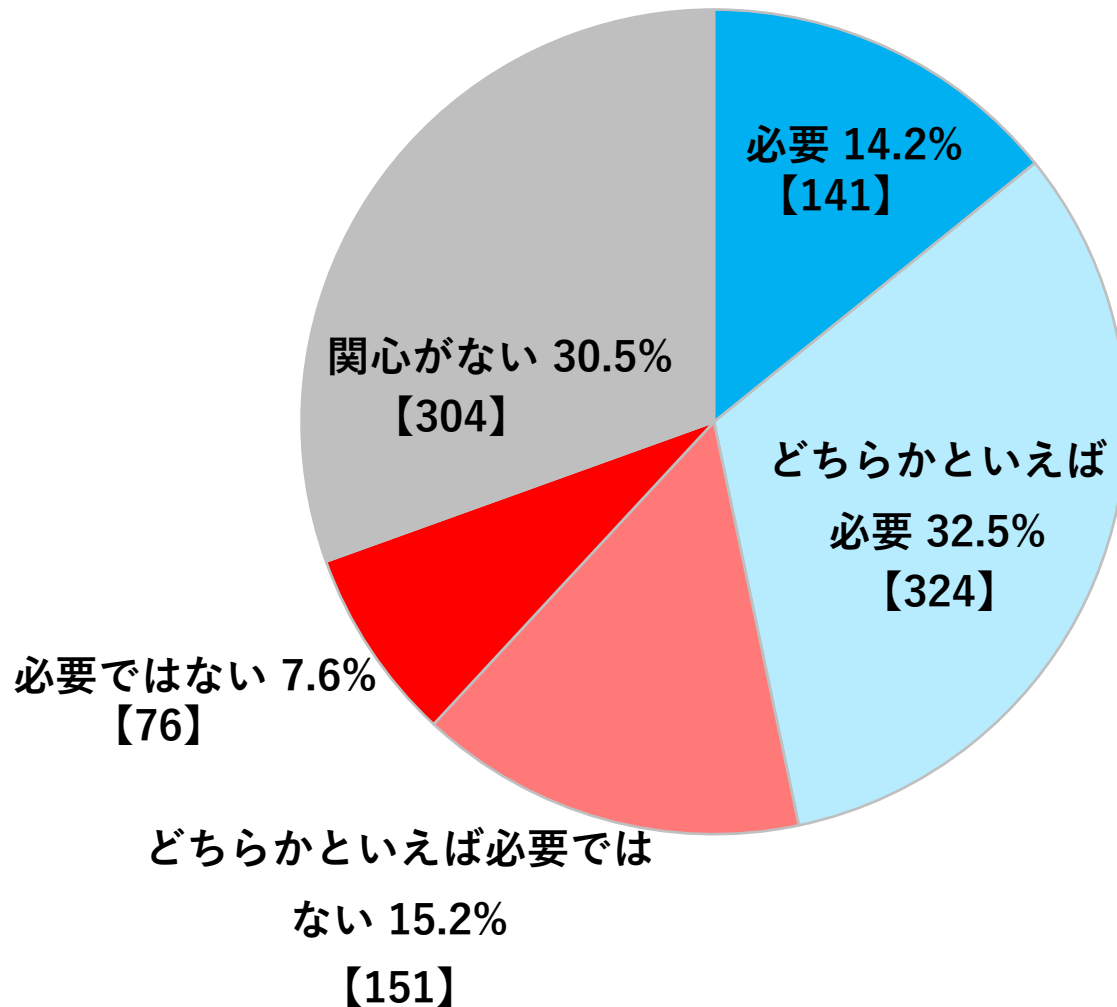
群馬県民会館（大ホール）の年間の利用者数は、1989年（約42万人）をピークに減少に転じ、1998年頃からは20万人前後で推移してきました。

その後、コロナ禍をきっかけに利用者数は半減し、2023年は約10万人と、ピーク時の1/4程度まで減少しています。

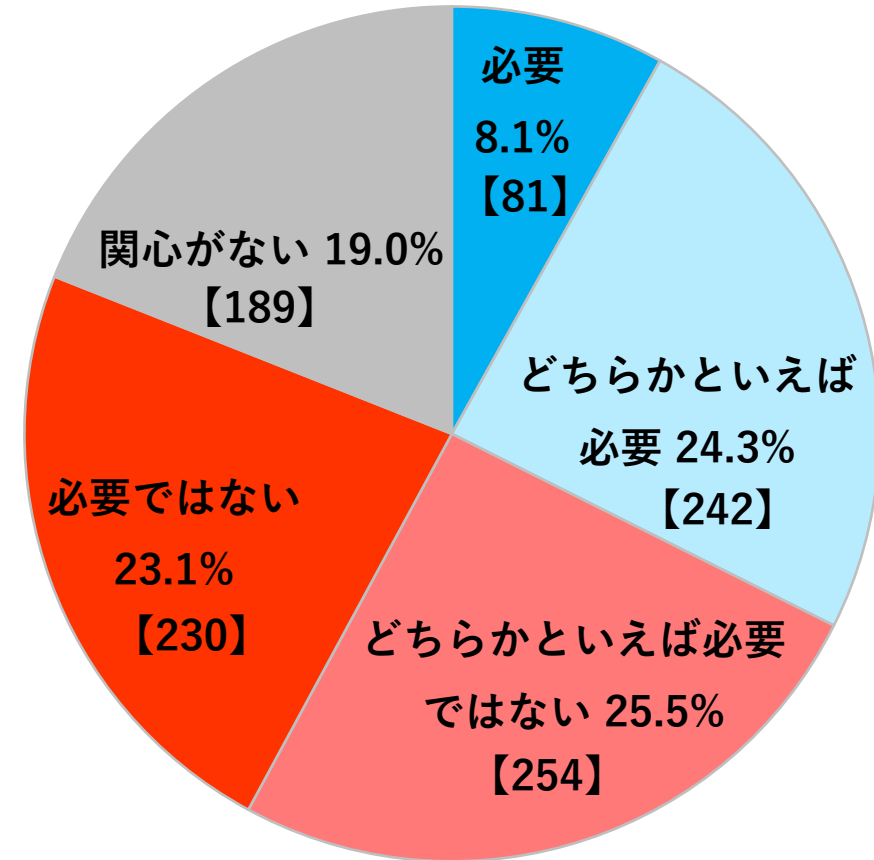
また、施設は耐震性や老朽化などの懸念を抱えており、群馬県としては、大規模な改修を行わない限り、利用を継続することはできないと考えています。

大規模な改修には、最低でも50億円以上の費用が必要となり、改修後も、毎年1億円以上の維持管理経費がかかる見込みです。

【Q7】

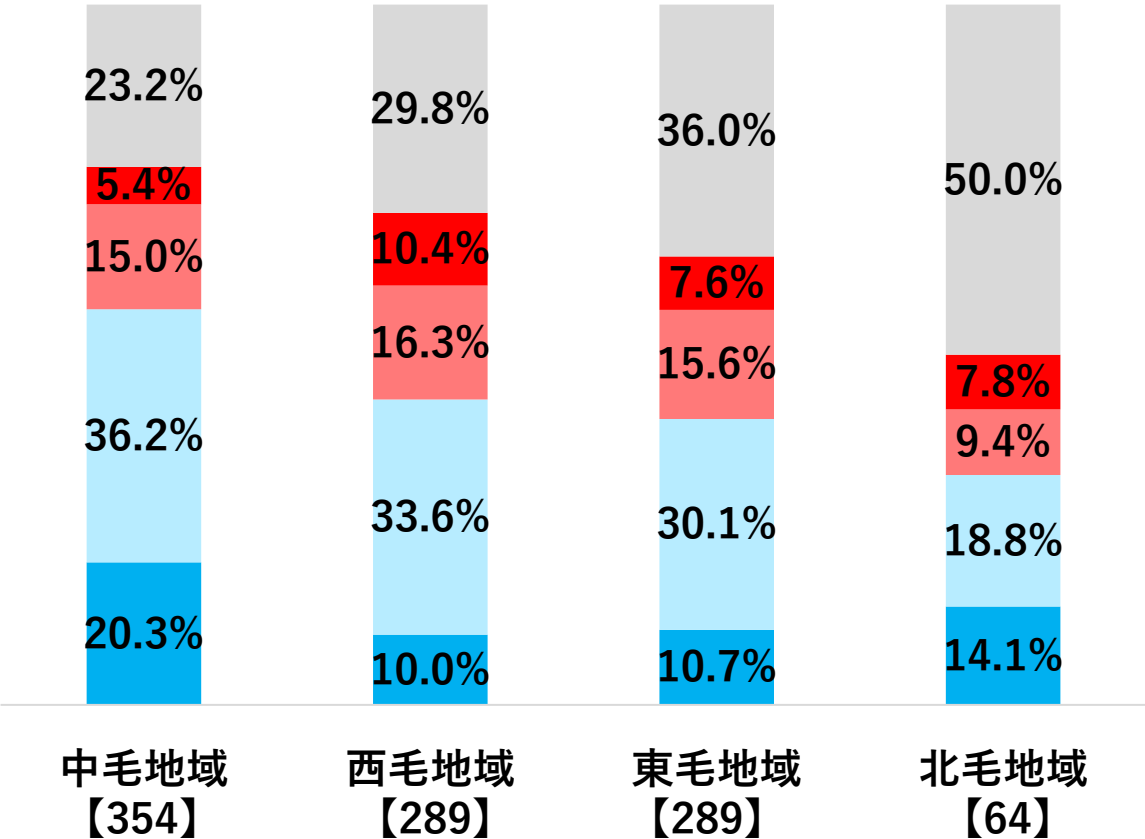


【Q8】

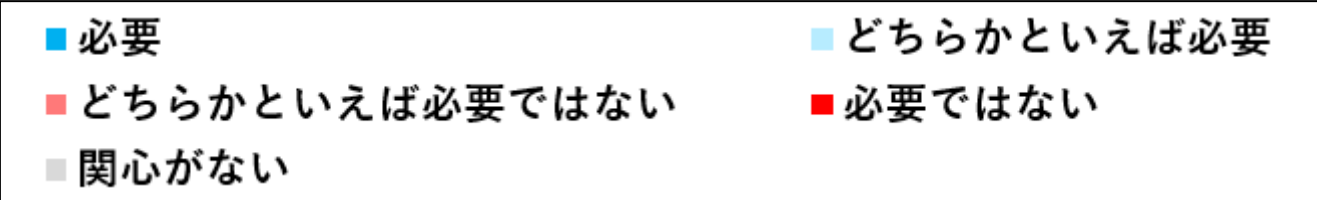
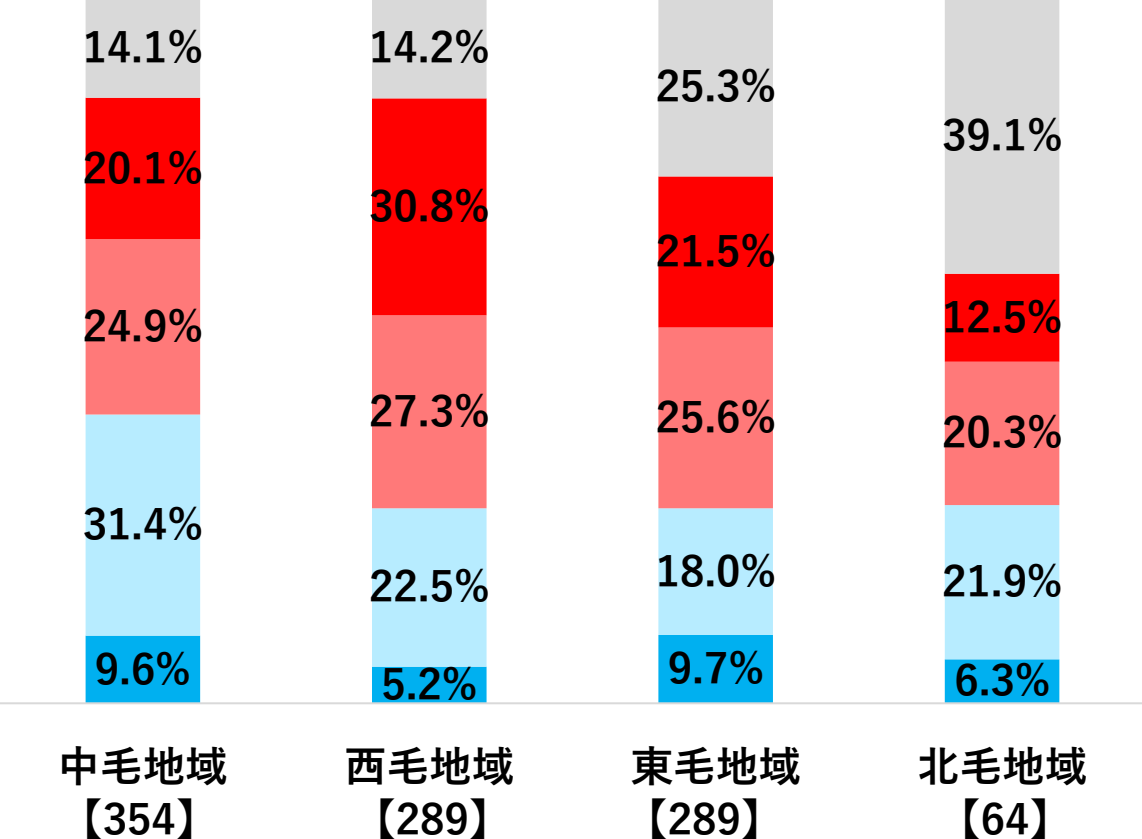


【調査結果】 群馬県民会館の必要性（地域別）

【Q7】



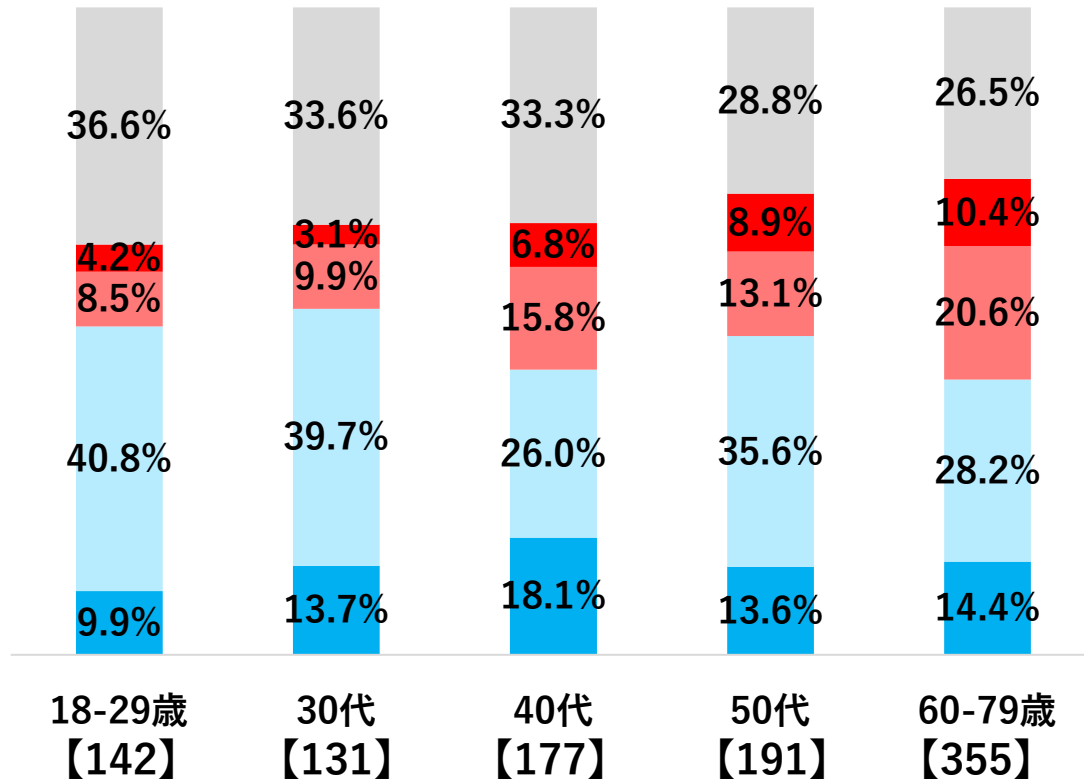
【Q8】



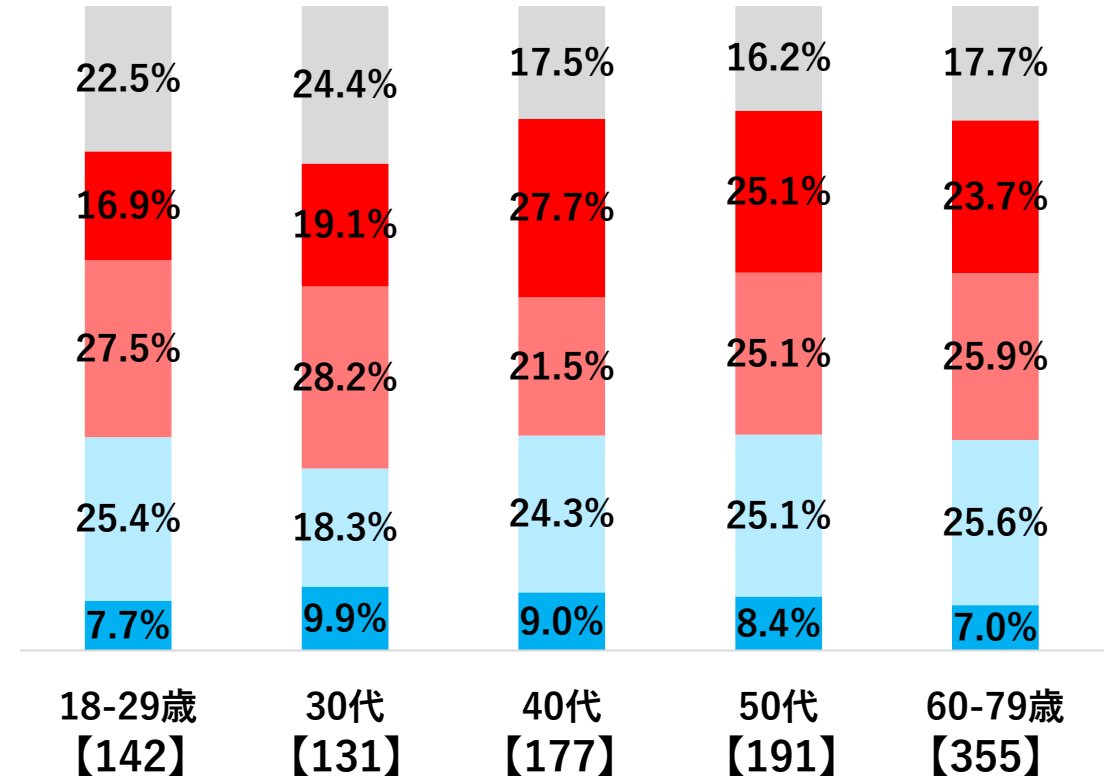
【調査結果】群馬県民会館の必要性（年代別）

資料 2

【Q7】



【Q8】



- 必要
- どちらかといえば必要
- どちらかといえば必要ではない
- 必要ではない
- 関心がない

【調査結果】 群馬県民会館の今後のあり方についてのご意見

[Q9] 「群馬県民会館」の今後のあり方について、ご意見等ありましたら自由に記載してください。（自由記載・任意回答）（n=456）

内容	具体的な意見例	件数
存続意見 (存続に向けたアイデアを含む)	思い入れがある施設を残してほしい、文化の拠点として必要、群馬県のために必要、募金・クラウドファンディングなどの活用、民間に委託・売却して存続、積極的なイベントの実施・広報強化、少人数利用への対応強化 など	167
廃止意見	他施設で代替可能であり必要ない、廃止・解体して、別のことにお金をまわすべき、費用がかかるので廃止はやむを得ない、使いにくいので不要 など	151
建て替え	現在のニーズにあったホールへの建て替え、アクセスのよい場所に移転・集約、子育て世代向けの施設や広場などへの用途変更 など	50
どちらともいえない ケースバイケース	必要性・収益性・代替施設があるかどうか次第、相場がわからないので判断できない、利用したことがないのでわからない など	38
関心がない	前橋市外在住であり関心がない、特に興味がない など	31
施設への不満	アクセスが悪い、駐車場が不便 など	22
要望等	他の施設が利用可能か知りたい、廃止後も県民会館の歴史や文化の展示を行う、施設の必要性を県民にしっかり聞いてほしい など	17
所感等	なくなるのは残念、聞きたいコンサートがなくなるのが心配、他の施設が使えるか不安、過去によく利用していた など	9

【参考 1】 1,000サンプルの各区分への割り振り

●目標回答数（合計1,000サンプル）

群馬県年齢別人口統計調査 (R5.10.1現在)		18-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-79歳		計（18-79歳）	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人口比率	中毛	28	26	25	23	32	31	34	33	59	63	178	176
	西毛	21	20	19	18	26	25	28	28	50	54	144	145
	東毛	24	20	21	18	28	25	29	27	49	52	151	142
	北毛	4	3	4	3	5	5	6	6	14	14	33	31

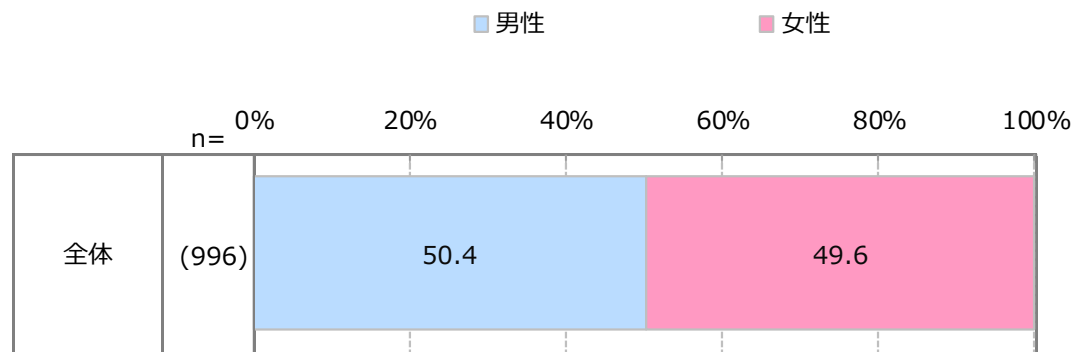
●実際の回答数（合計996サンプル）

群馬県年齢別人口統計調査 (R5.10.1現在)		18-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-79歳		計（18-79歳）	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
人口比率	中毛	28	26	25	23	32	31	34	33	59	63	178	176
	西毛	21	20	19	18	26	25	28	28	50	54	144	145
	東毛	20	20	21	18	28	25	29	27	49	52	147	142
	北毛	4	3	4	3	5	5	6	6	14	14	33	31

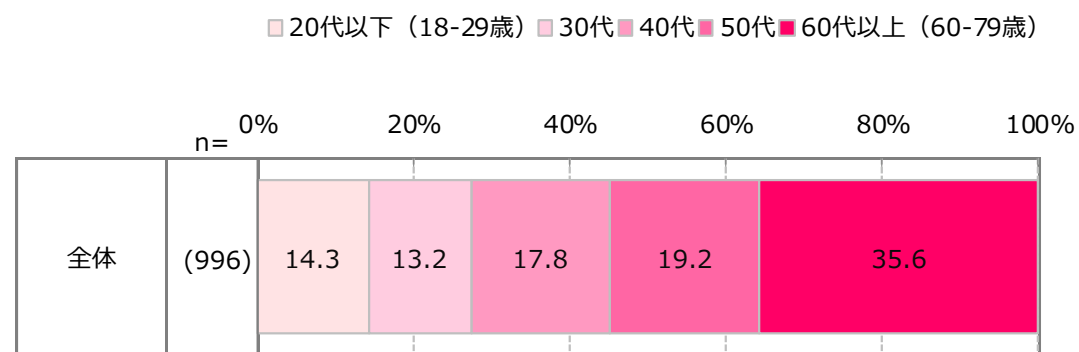
※目標回答数は群馬県年齢別人口統計調査結果（R5.10.1現在）にもとづいて割り当て

※東毛地域／男性／ 20代以下（18-29歳）のセルにおいて、4サンプル不足が発生

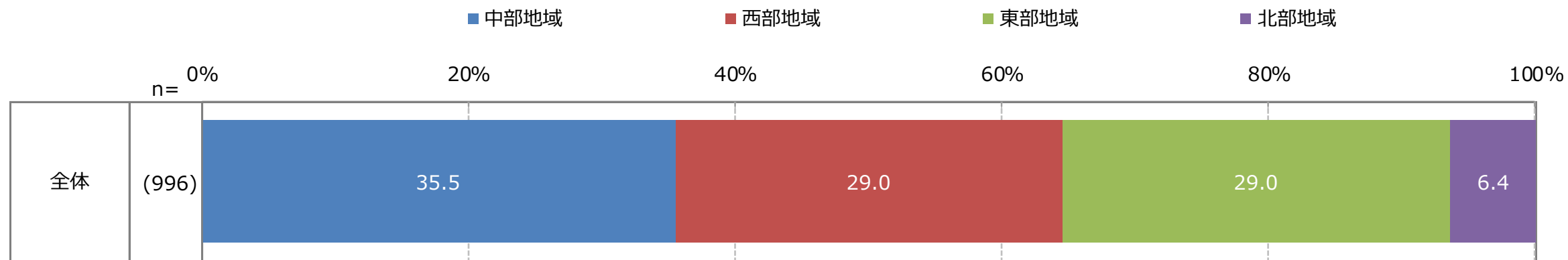
性別



年代

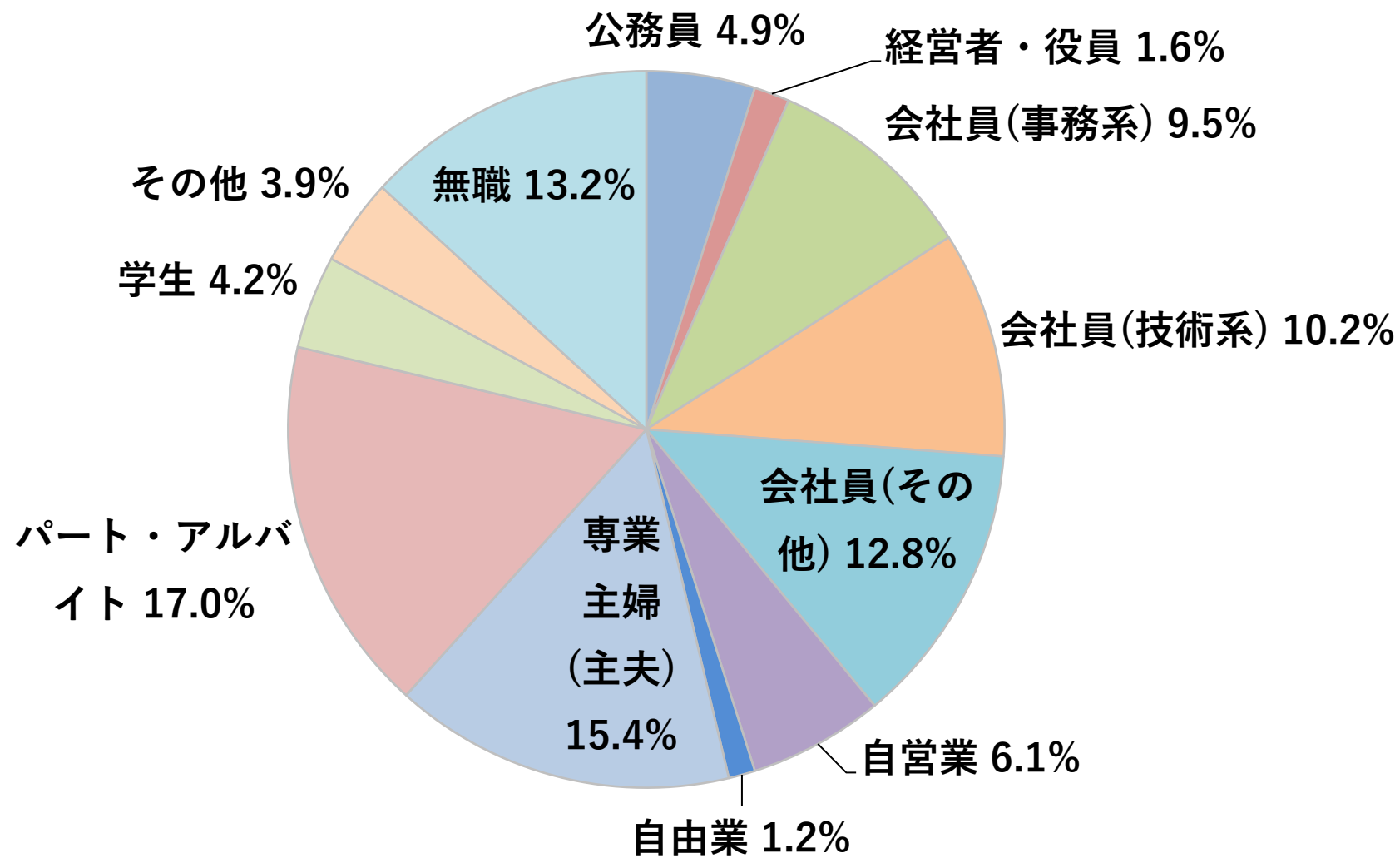


地域



※性別（2 区分）・年代（5 区分）・地域（4 区分）で計 4 0 区分を設定し、本県の人口構成比にあわせて1,000サンプル数を回収。

職業(n=996)



群馬県民会館 大規模改修で想定していた改修内容について

約30億円の大規模改修では多くの積み残し箇所を残しており、
施設を維持するためには今後10年で50億を超える改修費が必要。

今後10年で**50億円以上**の改修費が必要

(約52億円)

+ 約8億
(物価高等)

積み残し改修
約14億

大規模改修
約30億

R1試算であるため、物価高騰の影響を
デフレーター等(※)で簡易的に試算。
実際はさらに上振れする可能性が高い。

大規模改修は改修が必要な箇所の一部。
約14億円の積み残し改修箇所が存在。

▶R元年度試算の主な内容

エレベーター等の機械設備の更新
電気設備の更新、外壁の改修
舞台照明の更新 ほか

▶R元年度試算（約30億円）の主な内容

①安全性の確保（8.9億）

耐震補強、吊り天井の解消

②長寿命化（17.5億）

防水機能回復や設備更新等の基本性能維持工事、
舞台機構改修等のホール基本性能維持工事

③利便性・快適性の維持・向上（2.9億）

座席見直し・音響改善等の鑑賞環境の改善
トイレ洋式化等のバリアフリー推進

※国土交通省公表（R6.5.31）建設工事費
デフレーター等（1.183倍）を活用し算出

R1実施設計に基づいて改修が必要な箇所

資料 3

大規模改修 : R1実施設計に基づく大規模改修の内容

積み残し改修 : 大規模改修の対象からは外れているが、速やかに対応が必要な箇所

項 目	大規模改修	積み残し改修
1. 安全性の確保	8 8 9 百万円	—
2. 機能の維持（長寿命化）	1, 7 5 0 百万円	1, 4 0 0 百万円
3. 利便性・快適性の向上	2 9 3 百万円	—
工事監理費	7 7 百万円	—
合 計	3, 0 0 9 百万円	1, 4 0 0 百万円

※上記金額はR1試算であり、物価高騰の影響や更なる老朽化の影響を考えると、改修費は大きく上振れする可能性が高い。

1. 安全性の確保（大規模改修：889百万円）

資料 3

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①耐震補強	躯体の補強	Is値が低い4階・1階を中心に補強（Is値0.75に）	—
	特定天井落下の危険性の解消	・大・小ホール、エントランスホールの特定天井を改修	—
②法令への適合	避難性能の向上	・コンクリートブロック壁の補強・撤去 ・客席更新・座席数見直し・通路幅拡張 大ホール：1,997席 → 1,818席（▲179） 小ホール： 499席 → 494席（▲5） ※建築基準法、消防法に適合	—
	アスベスト処理	レベル1：エントランス・小ホールホワイエ天井 レベル2：煙突	—



大ホール



小ホール

2. 機能の維持（大規模改修：1,750百万円＋積み残し改修：1,400百万円）

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①集客施設性能の維持	防水機能の回復 給排水設備の更新	・屋根防水改修 ・雨水配管全更新 ・上下水配管更新（一部）	・上下水配管更新（残り）
	電気・空調設備の改修	・分電盤（S46設置）更新 ・火災報知設備更新 ・照明LED化 ・冷温水発生機（熱源）更新 ※3台→改修後2台 ・大,小ホール空調等更新 ・パッケージ型空調機新設（会議室）	・受変電設備更新 ・蓄発電設備更新 ・冷却塔更新 ・機械室、多目的室等の空調更新
	その他修繕	・会議室、多目的室等の内装改修 ・緞帳修繕、クリーニング ・熱源機械室を厨房に移設 ・熱源機械室跡をリハーサル室に改修	・エレベーター更新 ・外壁修繕 ・その他附随設備修繕



楽屋雨漏り（屋根防水機能劣化）



ホワイエ雨漏り（雨水配管劣化）



冷温水発生機（熱源）



受変電・蓄発電設備

2. 機能の維持（大規模改修：1,750百万円＋積み残し改修：1,400百万円）

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
②ホール性能の維持	舞台設備の改修	・ 吊り物、設備躯体部、制御盤更新 ・ 音響調整卓,スピーカー改造・更新 ・ ワイヤレスマイク,吊りマイク更新 ・ 照明LED化 ・ 調光操作卓,調光器盤改造・更新 ・ 天井、側面反射板 再塗装	・ 吊り物設備（電動機駆動部・制御部）の修繕 ・ 音響調整卓の更新 ・ スピーカー更新（大ホール） ・ 調光操作卓,調光器盤更新
	遮音性能の回復	・ 防音扉の修繕（音漏れ対策） ・ 吸音天井の改修（小ホール）	—



大ホール吊り物



音響操作卓



調光操作卓



調光器盤

3. 利便性・快適性の向上（大規模改修：293百万円）

資料 3

項目	大規模改修	主な内訳	積み残し改修
①鑑賞環境の改善	鑑賞スペース・音響の改善	・座席間引きによりスペース拡大 ・床面の嵩上げにより舞台見通し改善 ・天井改修による気積の拡大 ・天井反射板の設置 ・舞台音響反射板の角度調整(隙間塞ぎ)	—
	大ホール段床化	・段床化により舞台見通し改善	—
②バリアフリー推進	車イス席の増設	・大ホール：3席 ➡ 6席（+3） ・小ホール：0席 ➡ 3席（+3） ※スロープの新設、緩傾斜化	—
	トイレの洋式化	・全便器洋式化（便器数は維持） ・1階トイレなどの段差解消	—

項目	内 容
①駐車場	現状、枠内駐車：278台、詰込駐車：420台 駐車場が足りず、周辺の有料駐車場を使わざるを得ないことがある。
②バリアフリー	1階大ホールトイレは段差が解消されるものの、建物の構造上、段差が解消されない箇所が多く残る。
③トイレの数	イベント時、大ホール開場前に使用できるトイレが多目的室のトイレ（段差あり）のみで、2,000人規模のホールとしては数が不足。
④ホールの音響	大規模改修で一部音響改善がされるものの、専門ホールのような音響は見込めない。
⑤食堂	1階食堂は特に改修されず、空室のまま

群馬県民会館を取り巻く文化環境

エリア	～499席	500～999席	1000～1499席	1500席～(※)	主な施設
中毛	8	8	3	1	前橋市民文化会館 伊勢崎市文化会館 (※) 渋川市民会館 など
西毛	10	7	2	2	高崎芸術劇場 (※) 群馬音楽センター (※) 藤岡市みかぼみらい館 かぶら文化ホール など
東毛	8	4	3	2	桐生市市民文化会館 (※) 太田市民会館 (※) 館林市文化会館 など
北毛	2	3	0	0	利根沼田文化会館 中之条町文化会館 など